【日本赤十字社への申請】

令和2年4月28日現在

受付番号	事前評価	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的（※１）	献血血液の区分（※２）	献血血液の種類、量など
31J0001	○	免疫記憶幹細胞の機能解明	鳥越　俊彦	札幌医科大学病理学第一講座	教授	②	②	検査残余血清804本
31J0002		輸血実技講習会	木村　泰治	一般社団法人岡山県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球4バッグ、血漿5バッグ
31J0003	○	ぶどう膜炎をはじめとする眼炎症疾患の眼炎症発作の病態を反映する生物指標の探索	園田　康平	九州大学大学院医学研究院	教授	②	②	白血球除去フィルター2個
31J0004	○	携帯型近赤外分光装置の血液ファントム評価	渡辺　享志	浜松ホトニクス株式会社GSCCビジネス・アクセラレータ近赤外生体応用	部員	②	①	全血10バッグ
31J0005		Medical gasによる血小板保存法の開発	矢倉　富子	愛知医科大学　医学部解剖学講座	助教	①	①	血小板24バッグ
31J0006		福井県臨床検査技師会輸血細胞治療部門　輸血検査実技講習会	海老田　ゆみえ	福井県臨床検査技師会　輸血細胞治療部門	臨床検査技師	①	①	赤血球4バッグ、血漿3バッグ
31J0007	○	ヘモグロビン試薬の調製	外山　幸司	一般社団法人日本血液製剤機構　京都工場	品質管理部長	②	①	赤血球6バッグ
31J0008	○	A型およびE型肝炎ウイルス特異的モノクローナル抗体の作製	寺原　和孝	国立感染症研究所　免疫部	主任研究官	②	①	全血40バッグ
31J0009	○	ヘリコバクター・ピロリ抗体検出用試薬の標準品・コントロール製品の製造	佐藤　徹	栄研化学　那須工場	工場長	②	①	血漿50バッグ
31J0010	○	皮膚疾患の臨床像に対するT細胞の関与の検討	渡辺　玲	筑波大学医学医療系皮膚科	講師	②	②	白血球除去フィルター50個
31J0011		山形県臨床検査技師会　輸血・移植検査部門　実技研修会	大森　洋子	山形県臨床検査技師会	輸血・移植検査部門長	①	①	赤血球2バッグ、血漿3バッグ
31J0012		山形県臨床検査技師会　輸血・移植検査部門　精度管理	大森　洋子	山形県臨床検査技師会	輸血・移植検査部門長	①	①	赤血球4バッグ、血漿2バッグ
31J0013	○	HIV感染細胞のHIV潜伏感染と活性化の機序についての解析	前田　賢次	国立国際医療研究センター	室長	②	②	白血球除去フィルター48個
31J0014	○	ヒト赤血球由来プロテアソームの構造研究	森本　幸生	京都大学　複合原子力科学研究所	教授	②	①	赤血球5バッグ

受付番号	事前評価	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的（※１）	献血血液の区分（※２）	献血血液の種類、量など
31J0015	○	血小板凝集抑制を指標とした瘀血治療薬の探索	小池　佑果	昭和大学	助教	②	①	全血2バッグ
31J0016		有効なクリオプレシピテートの院内調製と凍結乾燥化の基礎検討	藤田　浩	東京都立墨東病院　輸血科	部長	①	①	血漿20バッグ
31J0017		災害臨床における医学薬学共同による無人航空機（UAV）の活用　ドローンによる血液製剤搬送	藤田　浩	東京都立墨東病院　輸血科	部長	①	①	赤血球8バッグ
31J0018	○	悪性腫瘍に対する養子免疫T細胞療法の研究開発	籠谷　勇紀	東京大学医学部付属病院　血液・腫瘍内科	講師	②	①	全血36バッグ
31J0019		九州地区卒後教育セミナー	佐藤　元恭	日本臨床衛生検査技師会	九州支部長	①	①	赤血球8バッグ、血漿4バッグ
31J0020	○	献血血液を用いた動脈血栓症診断を可能にする血液検査法の研究	坂田　飛鳥	奈良県立医科大学血栓止血医薬生物学	助教	②	①	全血8バッグ、血小板8バッグ
31J0021	○	微小振動環境下における赤血球の流動特性に関する実験的研究	百武　徹	横浜国立大学	准教授	②	①	全血1バッグ
31J0022	○	プロテインS-K196E変異検出法の開発	高岡　秀成	シスメックス株式会社　第二エンジニアリング本部　ハードウェア技術グループ	部長	②	①	全血30バッグ
31J0023	○	HBVマーカー検査のサーベイに関する研究	松岡　佐保子	国立感染症研究所	厚生労働技官	②	①	血漿52バッグ
31J0024	○	油症におけるダイオキシン類・PCBの人体暴露と評価手法に関する研究 ③血液中ダイオキシン類・PCB濃度測定の精度管理	堀　就英	福岡県保健環境研究所	生活化学課長	②	①	全血2バッグ
31J0025	○	体外循環における回路内血液凝固の専属的検出システム構築	坂元　英雄	公立小松大学	講師	②	①	全血28バッグ
31J0026		新生児に対する血液製剤の最適条件の検討	柳沢　龍	信州大学輸血部	准教授	①	①	赤血球10バッグ、血小板10バッグ
31J0027	○	動物、植物に感染しているウイルス、細菌のヒトへの感染の可能性の研究	水谷　哲也	農学部附属国際家畜感染症防疫教育センター	センター長	②	②	検査残余全血200本、検査残余血清200本
31J0028	○	マラリア伝播阻止を目指した熱帯熱マラリア原虫のインビトロにおける基礎研究	田中　健	香川大学医学部	助教	②	①	赤血球18バッグ、血漿9バッグ
31J0029		四国・徳臨技輸血検査研究班研修会（仮名）	中尾　隆之	一般社団法人　徳島県臨床検査技師会	会長、臨床検査技師	①	①②	赤血球7バッグ、血漿9バッグ、セグメント90本、検査残余全血8本

受付番号	事前評価	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的（※１）	献血血液の区分（※２）	献血血液の種類、量など
31J0030	○	分子標的がん治療薬が引き起こす溶血性貧血の副作用の分子機構の解明およびリスク変動要因の探索	楠原　洋之	東京大学大学院薬学系研究科	教授	②	①②	全血10バッグ、検査残余全血50本
31J0031		平成31年度（第32回）和歌山県臨床検査技師会　臨床検査精度管理調査	竹中　正人	一般社団法人　和歌山県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球4バッグ、血漿3バッグ
31J0032	○	血小板機能・寿命及び情報伝達経路における糖鎖、apoptosis関連タンパク、kinase、免疫受容体、接着分子の役割の解析	上妻　行則	学校法人銀杏学園熊本保健科学大学医学検査学科	准教授	①②	①	血小板8バッグ
31J0033		日臨技近畿支部における輸血講習会の開催	坊池　義浩	日本臨床衛生検査技師会近畿支部	輸血細胞治療部門長	①	①②	赤血球6バッグ、血漿6バッグ、検査残余全血50本
31J0034	○	SMBG用コントロール物質の製造	田中　善孝	日水製薬株式会社　研究部	部長	②	①	赤血球24バッグ
31J0035	○	HBs抗原陽性若年献血者におけるHBワクチンエスケープ変異株の検討	四柳　宏	東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野	教授	②	②	検査残余血漿100本
31J0036	○	血流下における血小板製剤の止血機能評価システムの開発	細川　和也	藤森工業株式会社　研究所	主任研究員	②	①	赤血球5バッグ、血漿5バッグ、血小板10バッグ
31J0037	○	体外診断用医薬品の品質維持	飯塚　雅行	デンカ生研株式会社	化学発光試薬部長	②	②	検査残余血清1,000本
31J0038	○	希少糖をベースとした新規抗体マラリア薬の開発	新井　明治	香川大学医学部	准教授	②	①	赤血球18バッグ、血漿9バッグ
31J0039	○	ヒト血漿からのアディポネクチン精製とその炎症抑制機構の解明	中野　泰子	横浜薬科大学	教授	②	①②	血漿12バッグ、検査残余血漿2000本
31J0040		輸血検査の精度の確保に関する研究	大友　直樹	東京医科歯科大学医学部附属病院輸血・細胞治療センター	臨床検査技師長	①	①	赤血球10バッグ、血漿10バッグ
31J0041	○	ECMO症例におけるMicrovesiclesの臓器障害に対する役割の検討	若林　健二	東京医科歯科大学生体集中管理学分野	助教	②	①	全血20バッグ
31J0042	○	細胞培養用途での血小板製剤の有用性検討	山原　研一	兵庫医科大学　先端医学研究所医薬開発研究部門 輸血・細胞治療センター	准教授	②	①	血小板30バッグ
31J0043	○	ヒト血小板由来培地添加剤の製造	須藤　稔太	株式会社ジャパン・バイオメディカル	代表取締役	②	①	血小板30バッグ
31J0044	○	標準血清およびコントロール血清への使用	菅　亮彦	株式会社カイノス	研究所所長	②	①②	血漿20バッグ、検査残余血清5,000本

受付番号	事前評価	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的（※１）	献血血液の区分（※２）	献血血液の種類、量など
31J0045	○	日本人におけるT細胞受容体・B細胞受容体の多様性に関する研究	山下　和男	KOTAIバイオテクノロジーズ株式会社	代表取締役	②	②	白血球除去フィルター100個
31J0046	○	HLAタイピング試薬の精度管理	前川尻　真司	湧永製薬株式会社　試薬・診断薬事業部	部長	②	②	検査残余全血500本
31J0047	○	免疫系転写因子群に着目した自己免疫疾患の病態解明と治療法開発	田村　智彦	横浜市立大学　大学院医学研究科　免疫学	主任教授	②	①	全血4バッグ
31J0048	○	ヒト抗体単離と病原体検出技術の開発	安居　輝人	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所	プロジェクトリーダー	②	②	検査残余血漿50本、白血球除去フィルター50個
31J0049		電磁波の輸血用血液製剤への応用研究	山口　敏康	東北大学大学院農学研究科	准教授	①	①	赤血球12バッグ、血漿12バッグ、血小板12バッグ
31J0050	○	ヒト血液を用いたin vitro培養系のマラリア原虫のオルガネラの解析	彦坂　健児	千葉大学大学院医学研究院　感染生体防御学	講師	②	①	赤血球24バッグ、血漿24バッグ
31J0051		公益社団法人　大阪府臨床検査技師会　ヘモグロビンA1c精度管理事業での使用	竹浦　久司	公益社団法人大阪府臨床検査技師会	会長	①	①	全血1バッグ
31J0052		学生および研修医輸血検査実習	丸山　尚嗣	船橋市立医療センター	院長	①	①	赤血球4バッグ、血漿4バッグ、セグメント40本
31J0053		千葉県臨床検査技師会精度管理調査ならびに千葉県検査値統一推進事業	中山　茂	一般社団法人千葉県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球3バッグ
31J0054		長野県における輸血検査教育	小嶋　俊介	信州大学医学部附属病院輸血部	主任臨床検査技師	①	①	赤血球4バッグ、血漿4バッグ

【ＫＭバイオロジクスへの申請】

受付番号	事前評価	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的（※１）	献血血液の区分（※２）	献血血液の種類、量など
Feb-18	○	ヒトグリオーマ初代培養株を用いた悪性グリオーマに対する局所治療法の開発	竹崎　達也	熊本大学医学部附属病院	特任助教	②	①	ボルヒール組織接着用　60mL

受付番号	事前評価	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的（※１）	献血血液の区分（※２）	献血血液の種類、量など
Mar-18	○	アジュバント活性を有する血液成分の探索	副島　見事	ＫＭバイオロジクス株式会社 研究開発本部 研究開発推進部	研究開発推進部長	②	①	クリオプレシピテート(0.5kg)とその上清(2L)、 陰イオン交換溶出画分(5L)と非吸着画分(2L)、 フラクションIの沈殿物(0.5kg)と上清(2L)、フラクションII+III の沈殿物(0.5kg)と上清(5L)、 フラクションIIの沈殿物(0.5kg)と上清(2L)、 フラクションIVの沈殿物(0.5kg)と上清(5L)、 フラクションV の沈殿物(0.5kg)と上清(5L)

※1　献血血液の使用目的	①　血液製剤の有効性・安全性及び献血の安全性の向上を目的とした使用
	②　国の公衆衛生の向上を目的とした使用
※2　献血血液の区分	①　血液製剤の規格等に適合しない血液（検査により不適合となった血液、販売されず有効期限切れの血液製剤）
	②　血液製剤の製造に伴って副次的に得られる献血血液又は中間生成物（検査用検体の残余血液、保管年限（11年）を超えた調査用の血液、血液製剤の製造過程で得られる廃棄画分）
	③　血液製剤の規格等に適合する献血血液等であって血液製剤の安定供給に支障の生じない量のもの